



**DH SYSTEM**  
大日本塗料株式会社

商品番号 1902

# エポニックスHスマイル

1. 塗料名 弱溶剤超厚膜形エポキシ樹脂塗料
2. 規格 社内規格
3. 特徴
  - 1) 1回塗で厚膜が得られ、塗装作業性が良好である。
  - 2) 弱溶剤使用のため、臭気等も少なく、塗装作業環境を改善できる。
  - 3) 各種旧塗膜への塗重ね適合性にすぐれ、塗替用にも適している。
  - 4) 素地調整が ISO-St3 (SSPC-SP3) でもすぐれた浸透性、付着性、防錆性を発揮し、塗替用及びブラスト処理が不可能な場合にも適している。
  - 5) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。

## 4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	10kgセット(主剤:9.5kg、硬化剤:0.5kg)				
色相	グレー、ライトグレー				
密度 (23℃)	塗料	1.51			
	揮発分	0.82			
粘度(23℃)	125KU				
加熱残分	79%				
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃
	指触	3時間	2時間	1時間	40分
	半硬化	18時間	12時間	6時間	4時間
標準膜厚	150μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 5. 塗装基準

項目	内容			
素地調整	—			
調合法	主剤 95部、硬化剤 5部 (重量比)			
可使時間	5℃	20℃	30℃	
	8時間	5時間	2時間	
温度・湿度制限	温度: 5℃以下、湿度: 85RH%以上			
使用シンナー	塗料用シンナー又は塗料用シンナーA			
塗 装 法	塗装方法	刷毛、ローラー塗り		
	希釈率	0~5%		
	標準使用量	500g/m <sup>2</sup>		
	標準膜厚	150μm		
	ウエット管理膜厚	250μm		
塗装間隔 (20℃)	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	2日	1日	1日
	最大	14日	10日	10日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

## 6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。旧塗膜上に固着した粉状異物は研磨にて十分除去する。
- (2) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- (3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- (4) 主剤粘度は特に低温時期に高くなる。開缶前に振倒することで流動性が得られ、取り扱いし易くなる。
- (5) 規定範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し更に、ウェスにて拭いて調整してから塗装すること。
- (6) 希釈には塗料用シンナー、または塗料用シンナーAを使用すること。
- (7) 塗装終了後の使用機器は直ちに塗料用シンナー又はラッカーシンナー等で十分に洗浄する。硬化反応が進行した塗料は塗料用シンナーでは洗浄が困難な場合があるので、その場合はラッカーシンナー等を洗浄に使用すること。

## 7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

## 8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。